

# かきおの社協

平成31年4月1日発行 第67号 柿生地区社会福祉協議会 発行人：久保倉 清 編集人：松岡 清臣  
川崎市麻生区万福寺1-2-2 (新百合21ビル1階) 電話：044 (952) 5500 FAX：044 (952) 1424  
<http://www.kawasaki-shakyo.jp/asao/>

## 柿生地区社会福祉協議会創立60周年記念 のつどいが開催されました

平成31年2月26日(火)午後3時よりJ Aセレス川崎柿生支店3階会議室で柿生地区社会福祉協議会創立60周年記念のつどいが御来賓をはじめ150名の会員が参加し開催されました。

### 会長挨拶

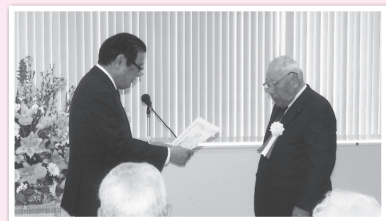
宮野敏男委員の司会で式典が始まりました。

久保倉会長は創立時の昭和33年の8月頃は東京タワーの建設が始まり、1万円札の発行や本人が成人式を迎えたことなど当時を振り返り、その後家族化が顕著になり、一戸建ての家からアパートや団地に住む人が増えて、隣近所の付き合いが少なくなってきました。新住民と旧住民が混在している地区、新住民だけが居住している地区、旧住民だけが居



住している地区に分かれてきています。支えあい、助け合う地域づくりに向けて取り組んでゆくとどの挨拶がありました。

### 感謝状と記念品贈呈



森政吉様 (元会長)、小林正次様 (元会長)、故 田中君 惠様 (前会長)、齋藤京子様 (前会計)、落合園子様 (会計)、新

関喜恵子様 (前福祉啓発委員会)、関谷高夫様 (前高齢者福祉委員会)、鈴木正視様 (前地域子育て委員会)、中田壽子様 (青少年福祉委員会)、澤淑子様 (障がい児者福祉委員会)、重田恵美子様 (すこやかコスモスの会) の各氏に感謝状と記念品が贈呈されました。受賞者を代表して平成15年より平成23年まで会長職その後麻生区社協会長を歴任された森政吉顧問より今後も社会福祉に寄与してゆくのご挨拶がありました。

### 来賓祝辞と紹介

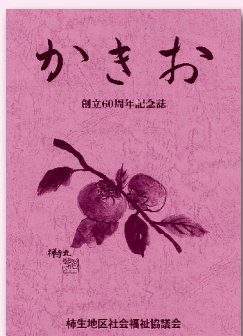
佐藤慎子様 (麻生区役所地域みまもり支援センター担当部長) 創立時の昭和33年に各地に団地の建設が始まりました。当時の平均寿命が男性65歳、女性69歳、1世帯当たりの子どもの数が2.1人です。

た。上麻生に初めて託児所ができたことなどの祝辞がありました。山本浩真様 (麻生区社会福祉協議会会長) 引越して安心、安全な麻生区に人が集まってきており、みんなが社会福祉に目をむけてほしいとの祝辞がありました。角山雅計様 (麻生区町会連合会会長) 創立時の昭和33年は東京の下町に住んでいて、東京タワーの建設されるのを見ていました。そこから新住民だけの居住区に越してきました。現在は犯罪、交通事故が川崎市で最少の麻生区で地域ケアを再構築していき70周年、80周年と発展していつてくださ

いとの祝辞がありました。その後のご来賓の皆様のご紹介、祝電披露、役員紹介で1部は閉会しました。



受賞者のみなさま方



創立60周年記念誌

ホームページのお知らせ

<http://www.kawasaki-shakyo.jp/asao/> から右帯の **柿生地区社会協議会** を検索してください。地域の福祉情報、講座・研修の予定等各委員会からの情報を速やかにお伝えするように努めます。

# 第19回 ふれあい合唱コンサート

## 障がいのある人も ない人も みんなで歌いましょう

主催：障がい児者福祉委員会

2月14日(木)麻生市民館大ホールで、午後1時30分より第19回ふれあい合唱コンサートが開催されました。連日の寒さや、インフルエンザの流行などで例年より参加者が少なかったが、200名を超す参加者の歌声がホールに響きわたりました。

本居長世をうたう会の29名のメンバーが白のブラウスに黒のスカートで登場し、指揮赤岡綾子先生、ピアノ伴奏金子典子先生で本居長世作曲の童謡「赤い靴、青い目の人形、偲はごろごろ」など7曲の歌をメドレーで歌い、コンサートがスタートしました。

柿生地区社協会長で障がい児者福祉委員会委員長の久保倉清会長より「このコンサートは、地域に住む子供からお年寄りまで、障がいの有るなしにかかわらず音楽を楽しんでいただき、出会いと交流の場所作りを目的に企画開催しています。今日は皆さん一緒に歌ってください。」と挨拶がありました。

### 男声合唱団「コーロ・マスキーレ・あさお」が初登場

「コーロ・マスキーレ(イタリア語で歌う男性)・あさお」のリーダー菊谷氏は、「メンバーの最高齢が91歳で、平均年齢が75歳だが熱気あふれる活動で、男性合唱の魅力である「厚みのある演奏」を目指し頑張っている」と紹介がありました。その言葉どおり「旅人よ、ヘッドライト・テールライト、昴」の3曲を指揮

辻瑞幹彦氏、ピアノ伴奏飛水美穂子氏でソフトな合唱でありながら力強さを感じる歌声で、魅了されました。

次のプログラムは、ピアノ伴奏を本居長世のお孫さんの金子典子先生が担当し、赤岡綾子先生のソプラノ独唱2曲と本居長世をうたう会の方たちが4曲を披露されました。

### みんなで歌いましょう

第2部では手話指導グループ「ツッギャザー」の皆さんの指導で「何か私にできるなら、故郷、四季の歌」を手話コーラスで参加者全員がトライしたのち、明治・大正・昭和の懐かしい曲を赤岡綾子先生の指揮で合唱しました。

最後の曲「七つの子」ではコーロ・マスキーレ・あさおのメンバーや障がい児者福祉委員会のスタッフも舞台に集まって、会場いっぱいに歌声が広がりました。

終わりに、障がい児者福祉委員会澤淑子副委員長の挨拶で、第19回ふれあい合唱コンサートが終了しました。



# 子どもの元気は食事から

主催：地域子育て委員会

### \*子どもの時の良い食習慣と良い生活リズムは一生の宝\*

2月2日(土)麻生市民館第一会議室で、女子栄養大学生活指導者で地域子育て委員の鷹取順子先生による「手軽でバランスの良い食事」についてお話し頂きました。

子どもたちは別室で子育て委員のスタッフが保育し、お母さんたちは学生気分に戻ったように、ノートに鉛筆を走らせていました。

### \*はやねはやおき4回食\*

「寝る子は育つ」と言われておりますが、睡眠は体と脳を休息させ、子どもが日中いきいきと過ごせるように、生活リズムを守る工夫が必要です。

どんどん成長する幼児には、たくさんの栄養が必要です。しかし1回に食べられる量は少ないので1日3回の食事をおやつを含めて4回にする工夫をしましょう。

朝ごはんは、起床から30分以上あけると食欲がわきます。野菜をしっかりとりましょう。昼ご飯は、12時には食べ終わります。

おやつは、甘いお菓子ではなく、豆、芋、野菜、果物などを利用し、牛乳もつけましょう。夕ごはんは、6時を守りましょう。…8時に寝るためには守りたい時間です。

安眠するために、胃に負担のかからない献立にしましょう。

### \*楽しい食卓を家族みんなで囲みましょう\*

子供の時の良い食習慣はとても大切です。一人で食べさせるのではなく、彩の美しくおいしい料理を、母親や家族と一緒に楽しく食事することは一生心に残ります。

子育てに忙しいお母さん、料理を工夫することで手軽で、バランスの良い食事を作ることができます。料理は最初薄味に料理し、大人には濃い味付け、幼児には薄味のまま食べさせる。又幼児にとって堅めの具材はもう一度柔らかく煮直す、おひたし、豆、芋などは作り置きして、食事の彩や、ひと手間かけておやつに利用するなど、ひとつの料理を使い分けたり、作り置きしたりして使う、又素材の缶詰やパックを利用するなど手軽においしい料理ができるよう工夫しましょう。

予定の時間を過ぎても受講者の質問や相談が終わらず、お母さんの関心の高さが感じられました。



### \*子どもの食事の量とバランス\*

大きめのミニトマト1個 ●=20g (3~5才)  
●=15g (1~2才)

1食分 肉 魚 豆 卵=●● 野菜=●●●●

ごはん パン=●●●●

+牛乳 3食の内どこかで果物●

おやつ 卵=● 粉製品=● 果物=●●●● +牛乳

牛乳やチーズなどの乳製品は1日30gを2回に分けて取ると良い



## 食育講座と調理実習

# 美味しく食べて健康に



主催：青少年福祉委員会



麻生総合高等学校で、終業式を4日後に控えた12月21日(金)のお昼時間にサッカー部員11名、ダンス部員11名、陸上部員4名男女生徒26名が参加し、食育講座と調理実習が開催されました。

講師は医療法人同愛会小澤病院 管理栄養士古沢洋子先生による、成長期にある高校生に必要な栄養素を含んだレシピの紹介と、調理の指導をしていただきました。

### たん白質を上手に摂りましょう

豚肉、ツナ缶、大豆は良質なたん白質が多く含まれています。豚肉やベーコンにはビタミンB1、B2などのビタミン群が多く含まれています、またキヌアはスーパーフードの中でもたん白質や必須アミノ酸を多く含んだ疑似穀物です。

このような食材を使って4~5名が一組になり料理の実習です。

料理は初めての生徒もいて、青少年福祉委員会のスタッフも加わってアシストしました。

メイン料理は「肉団子入りトマトスープ」です。ツナ缶

とトマト缶がスープの味わいに深みを加えます。「キヌアのサラダ」はベーコンと、みじん切りの玉ねぎとキヌアを炒めてシャキシャキレタスの上に盛り付けます。

「大豆の炒り煮」は、ゆで大豆に人参とこんにゃくを炒めて、昆布、だし汁、砂糖と醤油で味付けします。最後は「フルーツヨーグルト」です。缶詰の黄桃をサイコロに切ってヨーグルトをかけデザート仕上がりです。

### 三角巾にエプロンで大奮闘の生徒たち

男女とも、三角巾、マスク、エプロンとおそろいの服装で調理実習です。

男子生徒は、玉ねぎのみじん切からジャガイモの皮むきに包丁やピーラーの扱いに苦労しながらスタッフの助けもあって、一時間の調理時間をワイワイと楽しみながら料理を完成しました。盛り付けの後それぞれ自分の作った料理をおいしそうに食べ、どんぶり飯をお代わりする生徒もいました。先生も生徒の作った料理に舌鼓でした。

\*キヌア=アカザ科の一年草で、アンデス高地で栽培されている疑似穀物。



## 歌遊びとパネルシアター

# 親子で楽しんだ「クリスマス歌遊び」

主催：地域子育て委員会

12月14日(金)岡上こども文化センターで、和光大学心理教育学科准教授で「歌遊びは子どもの音感を養い、親子の絆を深めます」とご活躍中の後藤紀子先生による「歌遊びとパネルシアター」が開催されました。

16組の親子とすぎのこ保育園の年長さん10名が先生や委員会スタッフと一緒に一足早いクリスマス歌遊びを楽しみました。

### 外は北風 でもホールの中は大騒ぎ

♪アイアイ アイアイおさるさんだよ♪…後藤紀子先生の歌に始まり、ブタさんの歌遊びでは、パネルの上のブタさんの♪耳が伸びて…ウサギさんに、首が伸びて…キリンさんに、鼻が伸びて…ゾウさんになっちゃったウソウソ♪とこどもの目はパネルに釘付けでした。

「バスに乗って揺られてゴーゴー」では母親や先生、スタッフの膝に子どもを乗せて急カーブや凸凹道を走ります。人見知りがちだった子ども達も一緒に大さわぎ。



「あったまろうおふるの中で」では膝の上に子どもを乗せて♪洗いましょう ♪洗いましょう ♪頭を洗いましょう ♪と、顔、

肩、腕と順番にくすぐるようにさすっていきます。パネルを使った歌遊びは、「のりまき のりまき」の歌では、子どもたちが具にするのはマグロ サーモン いくら カニなど高級食材でした。「森のアイスクリーム屋さん」には森の動物たちが買いに来ます。「ちんぷいぷい」ではパネルの上の植木鉢に黄色の種をまくと黄色い花が咲き、青い種からドラえもん、赤い種からウルトラマンが飛び出して大喝采。「いない いない ばあ」では♪丸いおうちがありました ♪四角いおうちがありました ♪三角なおうちがありました ♪と、歌いながら先生やスタッフがおうちに隠れそれを子ども達が当てます。

夜空のパネルには、「おもちゃのチャチャチャ」やクリスマスソングに合わせて、皆で星を貼り暗くなると光り輝き、やがておもちゃやトナカイに乗ったサンタさんが現われたため息いきり、幼児期の歌遊びが終わり、園児達は退室します。

### わらべうたで 親子の絆を深めます

親子16組とスタッフが一緒になって乳児期にあった歌遊びをします。スパークハーフの布を使って♪上から 下から 大風こい ♪と歌いながら布を上げたり下げたり、子どもの笑顔がいっぱいになります。小さなスパークハーフを使った「ちゅつちゅつ こっこ」「にぎり ぱっちり」「ジャブジャブあわあわ」などわらべうたを歌いながら親子で楽しめます。

親子の触れ合いはとても大切です。弟や妹ができたり、小学生になるとそれなりにストレスを感じています。お母さんの手で抱きしめてあげてください。

柿生第3民児協研修会

# ねむの木学園を訪ねて

平成30年11月28日(水)柿生第3民児協では、静岡県掛川市にある「ねむの木学園」を訪問し、工藤 繁雄氏に活動状況・施設について説明していただきました。

当学園は、1968年(昭和43年)日本初の肢体不自由児養護施設として静岡県浜岡町に8人の子どもで設立され、その後養護学校(小・中・高等部)を開設、1997年同県掛川市の現在の場所に移転した。現在5才~79才の男女73人が施設で暮らし、うち33人が同敷地内の特別支援学校に通っている。



ねむの木学園前

## 設立者 宮城まり子さん

設立時、障害者への偏見が強い時代、女優で歌手の宮城まり子さんは舞台上で脳性まひの役を演じるため都内の病院を見学した折り、親の死亡・離婚や虐待などで家庭環境に恵まれない子ども達に触れ、「誰もが才能を発揮する場」を作ることを決意し設立した。「『障害を持っているから、そこそこで良い』は嫌。とことん集中してほしい。それが幸せにつながるから」と宮城さんは言う。

## 個性を伸ばす取り組み

学園では、国語や算数といった授業もあるが音楽や絵画等感性を磨く集中感覚教育に力を注ぎ、すべての子ども達の個性を伸ばす取り組み「評価しないで受け入れる」の指導が続けている。特に絵画は、子ども美術館が建設され、国内外の数々の有名美術館に招かれるレベルに高められている。

子ども美術館には、小さな子どもと母親を描いた作品が多く展示され、どれも独創的で素晴らしい作品ばかりだった。その母親の絵は、園生と生活をともにしながら、母親のように寄り添ってきた宮城さんと聞かされ感動した。

学園内に張ってある「やさしくね やさしくね やさしいことはつよいのよ」その言葉の意味は、人間はやさしくできないことが多い、それが当たり前。だけどそこを《えいっ!》ってやさしくするのは、自分に勝つことだから、やさしいことはつよいのです。

この言葉が実感できる環境を50年続けていることに深い感銘を受けた数時間でした。

(T・Y)



ねむの木学園美術館

## お知らせ

### 平成30年度 柿生地区社会福祉協議会 定期総会

2019年5月31日(金)

JAセレサ川崎 柿生支店

15時~

## 柿生地区社会福祉協議会創立60周年記念講演

### 「共生社会にむかって」

田園調布学園大学教授・心理福祉学科長、神奈川県教育委員会インクルーシブ教育推進運営協議会会長 鈴木文治教授よりお話がありました。千葉県野田市で起こった児童虐待の原因として学校教育の視点からは一人ひとりを尊重する「人権教育」が欠けていたこと、福祉教育の希薄さに起因していることが、津久井やまゆり園事件に通じていると解説され以下のお話がありました。

- みんなが障がい者 私たちは、障がいのある人、外国人、女性、病弱者と色々な差別を行ってきた。しかし私たちは生まれてからずっと他人から世話を受けない差別する側の健常者といえるでしょうか、皆が障がい者である。
- インクルーシブ教育 民族、言語、宗教、性別、障害などの理由で排除するのではなく、子どもの個別ニーズに合わせた愛情豊かな教育を目指し、一人ひとりの違いを祝福し歓迎する価値観に基づく教育を推進する。

神奈川県は昭和59年長洲知事の時に「共に学び共に育つ」教育を始めている教育先進県であり、川崎市は一番進んでおり今後も自信をもって教育を推進していきましょう。

## 雑感

電車の中では、ほとんどの人がスマホを片手に何かしらしている。決して使いこなせているわけではない私もその中にいる。

昨年末の電波障害の時にはパニックに。ラインゲームのアクセスで生存確認されている私は改めてスマホ依存を感じた。

そんな私がこの『かきおの社協』の編集委員会に関わったとき、印刷屋さんにも何度も足を運んでもらい、原稿を手渡したり、ゲラを持ってきてもらったり、あまりのアナログさに驚いたと同時に懐かしさを感じた。相対しての人のやり取りの中で出来る上がる紙面に、柿色のあたたかさとともに温もりを感じるの、編集委員会での会話を含めた人の和みがあるからだと手前味噌。(H・S)

## 編集後記

この広報誌は柿生地区社協管内の王禅寺・王禅寺西・王禅寺東・白山・虹ヶ丘・上麻生・下麻生・早野・岡上・万福寺・古沢・五力田・片平・白鳥・栗平・栗木・栗木台・黒川・南黒川・はるの野にお住まいの皆様にご覧いただけます。

